

日语课外读物丛书



0030115

林四郎 大石初太郎编著

敬語の使い方
日语敬语的使用方法

上海译文出版社

ISBN 7-309-04511-9

日语敬语的使用方法

刘文海 著



0030115



2 031 3179 8

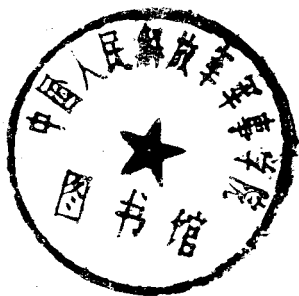
日语课外读物丛书

日语敬语的使用方法

敬語の使い方

〔日〕大石初太郎 林四郎 编著

沈宇澄 陈晓芬 应祥星 注释



上海译文出版社

日语课外读物丛书

日语敬语的使用方法

〔日〕大石初太郎 林四郎编著

沈宇澄 陈晓芬 应祥星 注释

上海译文出版社出版

上海延安中路955弄14号

新华书店上海发行所发行

江苏丹徒人民彩印厂印刷

开本 787×1092 1/32 印张 6.125 字数 116,000

1986年1月第1版 1986年1月第1次印刷

印数 0.001—20,500册

书号: 9188·281 定价: 0.80元

《日语课外读物丛书》出版说明

根据教育部召开的“全国高等院校日语专业教材规划会议”的精神，为了帮助高等院校在校日语专业学生和社会上日语学习者提高日语水平，满足广大读者扩大日本语言和日本概况知识的需要，特由北京外国语学院、天津外国语学院和上海外国语学院等三院校分别组织人员，共同商定编选方针，选择日本原版书籍中知识性、科学性、趣味性较强，语言文字比较规范的文章，进行注释，辑成这套《日语课外读物丛书》。

本丛书内容着重介绍有关日本的社会生活面貌、风土人情、产业经济、历史、地理、语言习惯、人物传记等各方面的情况，分册陆续出版。

前 言

敬语是日语的一大特色，它在形态上具有完整的体系。随着时间的推移，敬语的使用也发生了很大变化，从过去的绝对敬语转变为相对敬语，从过去按身份、阶级使用的敬语转变为社交性敬语。如何根据上下关系、亲疏关系、说话时的场合等各种情况恰如其分地使用好敬语，这对于日本人来说也并不是件容易的事，对于我国日语学习者来说，更是学习上的一大难点。

日本学者编著的专题论述敬语的书籍甚多，其繁简不同，各具特色。这里向读者推荐其中的一本——《日语敬语的使用方法》(大石初太郎·林四郎编著)。该书通过例举大量的日常用例，生动而简明地阐述了敬语的作用，具体介绍了正确使用敬语的方法，并通过对常见的误用例的分析，指出了各种场合下使用敬语应当注意的问题。它对学习和掌握敬语颇有指导意义。

为了帮助日语专业的学生和自学日语的读者准确地掌握敬语，我们从该书中选择了部分章节，同时对某些单词释义、语法现象和知识性内容加以注释，对个别稍难理解的句子加注译文。由于我们的水平有限，错误和不当之处在所难免，恳请读者批评指正。

ま え が き

このごろ、日本語のうまい外国人がずいぶんふえてきたことを、みなさんも、ラジオやテレビでお感じになるのではないのでしょうか。変な外人^{へん}どころではなく¹、日本人より日本人らしい外国人²が、たくさんいます。

そして、さらに感じることは、この人たちが敬語をよく使いこなす³ことです。敬語は、彼らにはよほどむずかしいだろうと思っていると、案外^{あんがい}そうでもないらしく、日本語学習にそれほど年期^{ねんき}の入っていない人でも、結構しっくりした敬語⁴を使って話すのには驚きます。日本の敬語を世界一厄介^{やつかい}なもののように思っている⁵のは、日本人だけなのではないかという感じがしてきます。

-
- 1.〔変な外人どころではなく〕岂止是奇特的外国人。“どころではない”句型。说明前后两者程度相差很远或内容相反，通过否定前句内容，加强肯定后句。意为“岂止”“何止”“不但…，就连…”。△肺病に罹ったら、二三日どころではなく、三ヵ月も休まなければならない。/如果患上肺病，岂止休息二三天，必须休息三个月。
 - 2.〔日本人より日本人らしい外国人〕比日本人还要象日本人的外国人。“より”是格助词，表示比较的对象。“らしい”是推量助动词。
 - 3.〔使いこなす〕复合动词。熟练使用，掌握某种技术。“こなす”接动词连用形后面，表示“熟练”“运用自如”。
 - 4.〔しっくりした敬語〕很恰当的敬语。“しっくり”意为“相称”“合适”。
 - 5.〔世界一厄介なもののように思っている〕认为是世界上最难以对付的（语言）。

そういう外国人たちを見て、もうひとつ感じることは、彼らが、敬語という、ことばそのものの正確さよりも、敬語を使う^{ふんいき}雰囲気^{せいおうじん}をよくつかんでいることです。

西欧人は、もともと表情や身ぶりが大きいから、ひとに対する親愛の気持ちなどを、すぐ、顔や動作で表します。そして、社交慣れしている人^{しやこうな}¹が多いので、人をそらさぬ態度²を作ることにたけています³。そういった対人的^き気くばりが、敬語の使用を援け、それで、全体にじっくりしたコミュニケーション^ばの場^{めいどろ}を作ること成功するのでしょう。

敬語を、あまりに、面倒な^{めんどう}ことばのきまり⁴だと、わたしたちは、思いすぎてはいないでしょうか。敬語は、不自然に^お押しつけられて身につくようなものではなくて⁵、自然な、ひとへの配慮^{はいりよ}が、おのずとことばに表れてくるという性格のものです。そういうことをわかっていただきたくて、この本では、敬語を、日常生活のエチケットから考えて行くように、順序^{じゆんじよ}を立て^たました。

「敬語がうまく使えない」「敬語の使い方を手^て取り^と早く^{ばや}教えてほしい」——そういう感想や希望を、絶えず、わたしたちは聞きます。そういう要望^{ようぼう}に、少しでも応えようとし

-
1. (社交慣れしている人) 善于社交的人。
 2. (人をそらさぬ態度) 不得罪人的态度。
 3. (…ことにたけています) 擅长于…。
 4. (ことばのきまり) 语言的规则。
 5. (敬語は不自然に押しつけられて身につくようなものではなくて) 敬語并不是在硬性规定下，为人们所掌握的，而是…。“身につく”掌握某种技能。
 6. (順序を立て) 安排顺序。

で¹、この本を作りました。全体の趣旨^{しゆし}として、具体的に、
こういう時には、こう言ったり書いたりしたらよいとわか
るように、理屈^{りくつ}より実例^{じつれい}を主にして述べるようにしました
が、実例は、いくらあっても、しょせん必要の全般をおお
うことはできません²。まして、小冊子^{しょうさつし}ですから、必要なケ
ースの、ほんの何分の一かに応えているに過ぎないと言う
べき³でしょう。敬語を使うについての基本的態度が身につ
けば、やたらに多くの事例は必要ではなくなると考えて、
基本を重視しました。

この本ができるについて、さきに明治書院の刊行した「敬
語講座」(林四郎^{はやししろう}・南不二男^{みなふじお}編)全十巻の第九巻「敬語用法辞
典」に多くを負っています⁴。この巻が特に一般の読者から
好評を得、需要が多かった^{じゆよう}ので、それをもとに、新たに二
編を加えたほか、全体^{か ひつ}に加筆して、一層読者の要望に応え
うる⁵ようにしました。

敬語の本は、世にたくさんあるので、本書は、それらに、

-
1. [そういう要望に、少しでも応えようとして] 为了尽可能满足 这样的要求。
 2. [実例は、いくらあっても、しょせん必要の全般をおおうことはできません] 实例不管有多少，归根结底是不能包罗万象的。“しょせん”副词，意为“归根到底”。
 3. [べき] 文语助动词“べし”的连体形，相当于“しなければいけない”，意为“应该”“必须”。△学生はまず第一に勉強すべきだ。/学生首要的(任务)是应该努力学习。
 4. […に多くを負っています] 很多有赖于…。
 5. […に応えうる] 能满足于…。 “うる”是文语动词，接在动词连用形后面，表示“能够”“可能”。

あるいは蛇足^{だそく}を加えただけかも知れませんが¹、それならば
それで²、また、幸いなことだと思っています。

昭和五十年六月

編 者

-
1. (あるいは蛇足を加えただけかも知れませんが) 也许只是画蛇添足而已。
 2. (それならばそれで) 如果那样的话，那…。用以承前启后，肯定前项的假设，然后再提出自己的打算或看法。△相手が本当にこうやるなら、それならばそれで、こっちも覚悟がある。/如果对方真的要这样干的话，那么我也有我的打算。

目 次

敬語の効用	1
それでも敬語はなくなるしない.....	2
「敬語なんか捨ててしまえ」と言えるか.....	2
漫画からの反省.....	4
気になる敬語のあやまり.....	6
緊張からの勇み足.....	6
アナウンサー、おまえもか!	9
サンドウィッチをフォークで食べる.....	11
新しい敬語.....	13
敬語は世につれ.....	13
敬語の魔力の正しい発揮.....	15
正しいことばづかい	18
「お」のいろいろな働き.....	19
敬意の固定した「お」.....	20
動作や所有の主をうやまう「お」.....	25
言外に「あなた」を表す「お」.....	29
あいさつことばとなった「お」.....	33

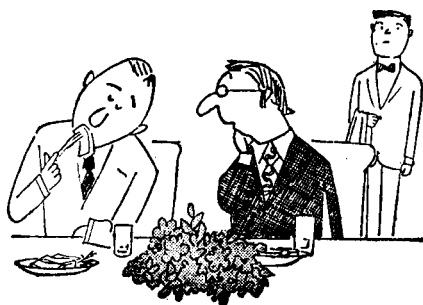
動作のかかり先をうやまう「お」……………	34
美化語の「お」……………	40
「お」がなくてはさまにならぬことば……………	44
ことばづかいの調和と不調和……………	46
「おれ」をめぐって……………	46
話しことばの中の「……だが」……………	48
「〇〇君、いらっしゃいますか」……………	50
尊敬語と間違えられる謙讓語……………	52
「おる」「申す」……………	52
「参る」「致す」……………	56
「でございます」……………	58
余談——敬語を呼ぶ文字づかい……………	60
 手紙の敬語……………	 63
はがきと封書の使い分け……………	64
往復はがきの用い方、書き方……………	67
あて名の敬称と脇付け……………	70
名前の扱い方……………	75
日づけの書き方……………	85
縦書きと横書き……………	87
手紙の文字と句読点……………	90
手紙の内容……………	95
手紙の標準文体……………	98
相手への顧慮……………	99

手紙の長さ	103
手紙の中の敬称、卑称と品位	105
手紙の機械化と手書きの価値	108
依頼のことば	112
ほめることば	116
感謝のことば	120
なぐさめのことば	123
言いにくいことを言わねばならぬ時の言い方	125
字くばり	129
追伸と同封物の扱い方	133
方書きとダイレクト・メール	135
質問のしかた	136
返事の要領	138
便箋、筆記具の条件	142
 職場の敬語	 145
職場と家庭の違い	146
職場での言葉づかい	149
職場は敬語を望んでいる	153
勤務時間外という言葉づかい	154
“御同役”に敬語を使うか	157
「課長」か「課長サン」か	159
「課長」「部長」自身の考え	161
部長に“課長不在”を言う時	163

部長に“課長外出中”を言う時……………	167
課長が「行く」か「ウカガウ」か……………	168
課長の伝言を他の課長へ伝える時……………	171
部長の「言われた」か「申された」か……………	175
「〇〇クン」か「〇〇サン」か……………	178
二、三の問題点……………	181

敬語の効用

大石 初太郎



それでも敬語はなくなるらない

「敬語なんか^す捨ててしまえ²」と言えるか

「きみの敬語はまちがっている」と言われたら、あなただ
ったらどう^{はんのう}反応するだろうか。はずかしいと思い、正しい
敬語の使い方を覚えたいと思うだろうか。それとも、関係
ない！ 敬語なんてどうでもいいじゃないか³、と思うだろう
か。たぶん正しい敬語を覚えたいと思う人が多いだろう
が、中には、敬語なんかどうでもいいと思う人もいるかも
しれない。

英語にもドイツ語にもフランス語にも、つまり西^{せいおう}欧の文
化程度の高い諸言語には敬語なんか無い(と言いきって⁴し
まうのは問題だが、少なくとも、日本語のような組織的な
複雑な敬語はない)のに、社会生活の上でいっこうさしつ
かえがない⁵ようだ、それなら、敬語なんか無いほうが、よ

-
- 1.〔なんか〕副助词。接在体言或用言连体形后面，含有轻视或自谦的语气。意为“之类”“等等”，多用于口语。△ぼくは絵や音楽なんかにあまり興味がない。/我对绘画、音乐之类不怎么感兴趣。
 - 2.〔敬語なんか捨ててしまえ〕把敬语废掉吧。接续助词“て”和补助动词“しまう”的命令形“しまえ”构成的。
 - 3.〔どうでもいいじゃないか〕不管怎样都行，随它去。表示与己无关。△犬喧嘩なんてどうでもいいじゃないか。/狗打架(之类)管我什么事，随它去。
 - 4.〔言いきって〕断言。补助动词“きる”表示动作完了，完成。△この病氣は絶対なおらないと言いき切れない。/不能断言说这病绝对治不好。
 - 5.〔いっこう…ない〕一点也不…。△いっこう便りが無い。/杳无音信。

ほどさっぱりしていいではないか、日本人も敬語に神経^{しんけい}を使うよりも、日本語から敬語をなくすことを考えるほうが生産的だろう。——こういう意見のあることはじゅうぶん考えられる。

たとえば、「ワタクシガイタダク」と言っても「ボクガモラウ」と言っても、表される事がら自体にはなんの増減もない。「アイツが言ッた」と言っても「アノカタガオッシャッタ」と言っても、いわゆる伝達^{でんたつ}される情報量には、なんのプラスもマイナスもない¹。敬語は尊敬やへりくだりの態度の表現。つまり待遇^{たいぐう}表現だけを役目^{やくめ}とするものである、尊敬とかへりくだりとかいうものは、つまるところ²、感情にからまる³だけのものだから、お互いに割りき^わりき⁴てそんなものを捨ててしまえば、ずっとすっきりした⁵能率的な社会生活が成り立つではないか、というふうに合理主義者は考えるだろう。わたしなどもそれが一つの理想の方向だとは思

う。

しかし、理想と現実とが一致しないのが世^よの常^{つね}⁶である。おそらくこういう理想がそっくりそのまま通用する世^よの中は到来^{とうらい}しないだろう。なぜかというに、人間は一面において合理的な理想^{ついきりう}を追求する精神をもちながら、一面におい

1. (なんのプラスもマイナスもない) 不存在任何利弊的问题。
2. {つまるところ} 副词。终究是…。
3. {感情にからまる} 被感情所牵制。
4. {割り切る} (数字上的)除尽，痛痛快快，干脆。这里是第二种意思。
5. {すっきりした} 轻松，心情舒畅。
6. {世の常} 世之常事。